



世界へのプレゼントになる

国際ロータリー会長

K. R. ラビンドラン

Nagai Rotary Club

長井ロータリークラブ

Weekly report

長井ロータリークラブ会長	渡部 堅一	第2800地区ガバナー	酒井 彰
長井ロータリークラブ幹事	大山 友規憲	第6ブロックガバナー補佐	芳賀 康雄
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel0238-83-2047	会報委員	五十嵐順子・菅 滋徳・塚田弘一・志釜幸喜・奥山智孝

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成28年 5月31日(火曜日) 第2,663回

【月間テーマ】 青少年奉仕

<例会報告 NO.43> ゲスト卓話 後藤 博信 氏(東北おひさま発電(株)社長)

☆会長挨拶 (渡部堅一 会長)



みなさんこんにちは。5月も今日で終わり明日からは6月で衣替えになりますが、5月半ばから暖かく、半袖の人も多く見受けられます。

また、紫外線が強くて、私も農作業をしているので、だいぶ日焼けしてしまいました。顔ににあわず皮膚が弱いようで、手に焼けどのような火ぶくれができてしまいます。手袋をしています、若干日差しが通るようで、あせもが出たように手がぼこぼこになります。

話は変わりますが、5月28日に長井の歴史を綴った本が発行され、講演がタスで行われ、その後祝賀会に参加してまいりました。長井市長、県議等たくさんの方が参加していました。またその中に赤間先生もいられてまだまだ 元気にしていられたようです。

☆幹事報告(齋藤圭央 次年度幹事)



・2016-2017 年度 クラブ協議会の案内を関係者に配布しております。出席願います。

・早退届け 齋藤信治 会員、塚田弘一 会員

☆委員会報告

なし

<ニコニコ BOX>

・塚田 弘一 会員

地域のため、未来のために取り組んでおられる後藤社長に敬意を表します。

・浅野 敏明 会員

お忙しい中、ご講話いただきありがとうございます。

・奥山 智孝 会員

今後ともご指導お願いいたします。

☆ゲスト卓話 後藤 博信 氏
(東北おひさま発電(株)社長)



・明日、国会の会期末となるが気になっている事が2点ある。一つは安倍政権発時のアベノミクスの違和感が解消されていない事とサミット時に言っていた事についてである。

・アベノミクススタート時に2年間で2%のインフレを達成する(異次元緩和)と言っていたが主導したのは黒田日銀総裁であるし、副総裁となった岩田規久雄氏である。

・私は常々経済学者はうそを言うと感じていたが、岩田氏はアベノミクスが始まる上智大学教授時代に、アベノミクスに参加する前、日銀白川総裁を徹底的に反対していた。

・日銀の独立性、新日銀法における政策と実行について全て独立して持つことができるようになったが、岩田氏は政策は政府、日銀が実行という考えであった。

・異次元緩和において、2年間で2%のインフレを達成できなかつたら辞任に値すると言っていたが、辞めたという話はまだ聞いていない。

・消費税増税については、リーマンショックや東日本大震災のように2つ以上の事案がないと延期する等といった法律上に付帯事項はつけてはいない。やると言ったからには根拠があるはずなのに、簡単にいろんな事をいまして延期しようとしている。私は、かなり違和感を感じる。

・高校をでてから45年以上故郷に戻っていなかった。東京中心に仕事をしてきた。直近でも、地方創生を成長戦略とした際に、ずっと入ってこなかった。自分自身は45年前に故郷を捨てたというか離れ、地方と都会では情報とかモノ等、差別的・格差があることを認めながら、経済成長をしてきたという面がある。

・リーマンショック後、証券会社を経てベンチャー企業(ヘッジファンド)の社長をしていた。最終的には運用の世界の最前線での仕事で身を引いたが、途中で懺悔の気持ちやら故郷への思い等もあり、震災の1年前に戻ってきた。

・行政にも関わらせていただいたが、残念に思ったことは、「この町にもいいことはあるよね、みんなで何かやろう」と言ったときに、何もないとわれ、自分達のまわりの良いことが何なのか、が出てこないことが多かった。

・地域の集会の場でも、長老が仕切っており若者の意見を聞かない風潮があり、二者択一ではなく、若いところに目線・視点をあてて、施策をしていくのは何がいいかという気持ちを募らせた。

・3.11以降、2年連続で山形新聞に掲載させていただいたが、私の思いは地域エネルギー発電所を実現させるということである。

・おひさま発電では、震災後再生可能エネルギーの固定価格買取制度という国の施策を活用しながらやった。これは優れた公共施策の一つであるが、結果的には太陽光だけがバブルのようになって、ほとんどが大企業によるものであった。

・再エネは地域に付与された資源であり地域に返す循環システムであると思う。太陽光はあまり複雑なシステムでもなく設置も簡単ではある。固定資産税は長井市に入っているものの、はたして、太陽光発電が地域の方々が実感できる構図になっているか疑問に思いながらやってきた。

・再生可能エネルギーは、太陽光・風力・地熱・バイオ・小水力がほとんどであり、これを分散型エネルギーという。今までの電力は、集中・大規模であったが、これからは地域エネルギーということで、分散化・ネットワーク化して自分達の中で自己完結できるような仕組みが必要である。

・電力系統が一番難しいが、最終的にはスマートグリッド的な需給関係が確立されながら、住民の自治でできることがコンセプト。

・中央からの支配的な構造から抜け出すには、エネルギー・食・介護ケア(医療)で自立できれば、最低限の幸せ・生き方ができるのではないかと感じている。

*詳細はDVDをご覧ください。

☆次回例会予定

・6月7日 ゲスト卓話 今 良明 氏
(次年度ガバナー補佐)

☆出席報告

5月31日例会 報告者:手塚 典雄 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席率	MU数	修正 出席 数	修正 出席 率
本日 (5/31)	29 (1)	21 (1)	72.71 %			
前回 (5/24)	31 (3)	24 (3)	77.42 %			
前々回 (5/17)	31 (3)	24 (3)	77.42 %			